

肺炎球菌ワクチン（キャップボックス・プレベナー）自費接種のご案内

肺炎球菌は、肺炎や侵襲性肺炎球菌感染症（IPD）を引き起こす細菌で、特に高齢者や基礎疾患のある方では重症化しやすいことが知られています。ワクチン接種は、これらの感染症の発症や重症化を減らすことが期待されています。

当院では、キャップボックス（PCV21）およびプレベナー（PCV20 など）の自費接種を行っています。

【キャップボックス（Capvaxive／PCV21）とは】

- ・ 21 価肺炎球菌結合型ワクチンで、成人向けに設計された最新のワクチンです。
- ・ CDC（米国疾病対策センター）の全国データでは、成人 50 歳以上の IPD の約 82% の血清型をカバーすると報告されています。
- ・ 18 歳以上が対象で、特に 50 歳以上または慢性疾患・免疫低下などでリスクが高い方に推奨されています（CDC/ACIP）。
- ・ FDA（米国食品医薬品局）により 2024 年に承認されました。
- ・ 免疫原性は、複数のランダム化比較試験（STRIDE シリーズ）で評価され、既存ワクチンと比較して十分な免疫応答を示したと報告されています。
- ・ 主な副反応として、注射部位の痛み・発赤・腫れ、頭痛、筋肉痛、倦怠感、発熱などが報告されています。

【プレベナー（Pevnar／PCV20・PCV13）とは】

- ・ 肺炎球菌の複数血清型に対応した結合型ワクチンです。
- ・ PCV20（Pevnar20）は 20 種類の血清型をカバーし、成人の肺炎球菌感染症予防に広く使用されています。
- ・ ACIP（2024-2025）は、50 歳以上のすべての成人に PCV（PCV20 または PCV21）を 1 回接種することを推奨しています。
- ・ PCV13（Pevnar13）は現在、主に小児や特定の医療状況で使用されています。

【キャップボックスとプレベナーの一般的な比較】

項目／キャップボックス（PCV21）／プレベナー（PCV20）

- ・ 対象血清型：21 種類（成人 IPD の約 82% をカバー）／20 種類（成人 IPD の約 54% をカバー）

- ・対象年齢：18歳以上（特に50歳以上推奨）／18歳以上
- ・推奨（ACIP 2024-2025）：PCV-naïve 成人 ≥50歳に1回接種推奨／同上
- ・免疫原性：STRIDE 試験で良好な免疫応答を確認／既存の臨床データ多数
- ・副反応：注射部位反応、頭痛、筋肉痛、倦怠感、発熱など／同様の副反応が報告

※両ワクチンの直接比較試験は現時点で存在しません。

【自費接種料金】

（例：実際の金額は医療機関で設定）

- ・キャップボックス（PCV21）：14,000円（税込）
- ・プレベナー（PCV20）：12,000円（税込）

~~※仕入れ価格の変動により変更となる場合があります。~~

【接種をご希望の方へ】

- ・当院では予約制で接種を行っています。
- ・持病のある方、服薬中の方は診察時に医師へお知らせください。
- ・接種の適否は診察にて医師が判断します。